

パラパリからごあいさつ

みなさん、こんにちは!!☺️パラパリです!

私たちは障害者(チャレンジド)とともにパラスポーツを通じて交流することで、理解を深めると同時に、お互いにつながり、豊かな人生を送ること、そして、チャレンジドという言葉が浸透させることを目標に活動しています。

「何故パラリンピックは放送も少ないし、あまり取り上げられないの?」

オリンピックに比べてパラリンピックはテレビにおいて生中継で放送される数や、ニュースなどにおいても詳しく取り上げられることが少ないという現状は、日本の課題であると感じました。

—このような状況だからいつまでも
包摂社会を達成できないのではないのか。—

同じ大きな国際大会なのに放送が少ないことで人々のチャレンジドへの関心が少ない。もっとパラスポーツのすばらしさや努力、感動を知ってほしい。

このような思いから、広島市立大学の学生4名が集まり、「パラパリ」を結成しました!

白い杖SOS信号をひろめる会広島の方々と共に大学祭でイベントを開催しました!!



チャレンジとは??

これまで、「チャレンジド」という言葉について、聞いたことがなかったという人もいないのではないでしょうか? 「チャレンジド」という言葉について解説していきます!!

「チャレンジド」とは、障害を持つ人を表す新しい米語「the challenged (挑戦という使命や課題、挑戦するチャンスや資格を与えられた人)」を語源とし、障害をマイナスのみに捉えるのではなく、障害を持つゆえに体験する様々なことを、自分自身のため、あるいは社会のためにポジティブに活かしていくという想いが込められた言葉です!

もっと詳しく知りたいよっていう人はQRコードから見てみて下さい!!

『「チャレンジド」という言葉について
~プロップ・ステーションからの提案~』
社会福祉法人プロップ・ステーション 竹中ナミ



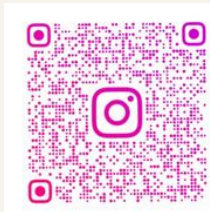
名前の由来

団体名である「パラパリ」の意味や名前に込めた想いを紹介します!

「パラパリ」とは、「パラスポーツ」と「パリピ(パーリーピーポー)」を組み合わせた造語です!
堅苦しい感じではなく、パラスポーツを通して、楽しみながら交流を行い、チャレンジドの方との相互理解を深めていけたらという想いを込めて名付けました。
ぜひ覚えていただけたら嬉しいです!!

パラパリ公式
Instagram

ぜひ覗きに来てね~!!



パラパリ

ParaSports × Party People



ランチゲーム

アイマスクをして食事をするイメージを持ってもらう体験

どこに何があるかを知らせる「クロックポジション※」を知ってもらい、分かりやすく言ってもらいと助かることを知って欲しい。

「これなあに？」

アイマスクをして、手だけの触覚で何かを当ててもらう体験

手触りだけで品物を確認するには、時間がかかることを知ってもらったりお金などの見分け方などのコツも知ってほしい。

白杖体験

実際に白杖を使って行う歩行体験

交差点などをどんな気持ちで視覚障害の方が歩かれているのか体験してほしい。

音訳体験

自分の声を録音する体験

文字が読めない人も沢山いるから、新聞などを読み上げて情報を伝える音訳さんの体験をしてほしい。

スイカ割り

方向を伝える際に、抽象的な言葉ではなく、「右に3歩」「前に5歩」などの明確な表現を使用して伝える体験をしてほしい。

輪投げ・玉入れ

白杖は、一步前の確認はできるが、車や自転車など、数十メートル先から移動してくるものの危険を察知するのは耳である。音を聞いて、位置や方向、速さの確認をする体験をしてほしい。

点字体験

視覚障害者の情報収集・読書・書類の整理など、視覚で文字を読むのではなく、指で文字を読むことを知ってほしい。

白杖の日は何月何日？

①1月10日 ②8月27日 ③10月15日

正解は、③10月15日でしたー！

国際白杖の日は、1970年に世界盲目連盟(現：世界

盲人連合)により、「視覚障害への認識・関心を高めること」などを目的に制定されました。

アンケートのお願い

バラバラの体験展示にお越しいただきありがとうございました！

今回のイベント等についての簡単なアンケート調査を実施しています。

3分程度で終わります！
ご協力の程よろしくお願ひします🙏



アンケートフォームはこちらから
↑